

パブリックコメントに対する質問と回答

	質問	回答
1	<p>地域共生社会の実現について</p> <p>公助の充実には経費（予算）が必要である。限られた予算の中で充実させていくことは可能なのか。公助の充実にしても、自助、互助、共助が充実していくための公助充実をめざしてもらいたい。</p>	<p>限られた予算の中ではありますが、交付金等も活用しながら、住民一人ひとりが「我が事」「丸ごと」ととらえる地域づくりを推進します。「我が事」では地域における多様な交流の機会などに関する情報提供、発信を行い、地域や福祉に関心を持った市民を、具体的な取組みにつなげます。「丸ごと」については、令和3年度の組織改正及び新庁舎移転時における福祉の総合相談窓口の検討を進めており、さらに各部署との連携を図ります。その施策については計画内の「基本目標1」に追加で記載しました。</p> <p>自助、互助、公助のそれぞれの役割分担をしながら、「公助」を充実させつつ、「自助」や地域での支え合いである「互助」を活性化させていきます。</p>
2	<p>介護予防サービスB（住民主体型サービス）の整備について</p> <p>ある町老連（町老人クラブ連合会）では「暮らしの困り事助け隊を結成して、電球の交換、植木の手入れ、水道や下水関係といった日常生活における困り事への協力が出る援助隊組織を作っていこうという動きがあります。</p> <p>市内には、こういった日常生活の支援が出来ればと考えていらっしゃる方、すでに身近なところで実践している方が、潜在的にいらっしゃるのではないのでしょうか。</p> <p>こういった情報を収集して、事例として情報提供をすることによって、やってみたいと思う地域も出てくるのではないのでしょうか。情報の共有化と立ち上げ支援に努めていただきたいと思います。</p>	<p>現在、第2層協議体で、ちょっとした困りごとの助け合いの仕組みづくりに取り組み、困りごと調査、それに対応する人材調査を実施しているところ です。</p> <p>第2層協議体のメンバーには、町老人クラブの方にも入っていただいていますので、個々に日常生活の支援を行っているところの情報を収集し、上手くいっている事例については、第2層協議体の交流会等で紹介していくことにより共有し、仕組みづくりに取り組んでいきます。</p>

3	<p>地域包括ケアシステムの更なる深化・推進について</p> <p>高齢者相談については、高齢者本人はもちろん、介護者や家族からなど、多種多様な相談になることは否めません。高齢者相談の中核的役割となる地域包括支援センターには、土・日や夜間の相談受付の検討をお願いしたい。見守りカメラについては、高齢者のためだけではなく、子どもや犯罪も含めた地域見守りとしての役割での導入に期待します。</p>	<p>地域包括ケアシステムの体制づくりにおいては、地域包括支援センターが中心的な役割を担い、高齢者の総合相談の窓口となっています。計画内「基本目標2」に記載のとおり、地域包括支援センター窓口の充実のため、土・日や夜間、休日の相談体制について検討します。</p> <p>現在、高齢者等の見守りについては、高齢者等見守り SOS ネットワークで行方不明高齢者等の早期発見、保護に向けて地域や関係機関等と協力しながら見守り体制を進めています。計画内「基本目標2」に記載のとおり、見守りカメラについては高齢者だけではなく、地域全体の見守り体制として、将来に向けて関係部署等とも連携しながら、検討します。</p>
4	<p>自立を支える福祉サービスの充実について</p> <p>高砂市は、ボランティアやNPO、民間企業などの活用がうまくできていないように感じる。福祉サービスだけではなく、防災面においても、行政だけではできないことを認め、多様な主体にサポートをお願いするとともに、地域住民が自分たちで支えあえる体制づくりをめざしてもらいたい。</p>	<p>高齢者が地域とのつながりや生きがいを持ちながら自立した生活を営むために、福祉サービスを充実させるとともに、相談があった場合に適切な支援に結び付けられるように支援体制の充実を図ります。</p> <p>生活支援を必要とする高齢者や防災の観点からも援助を必要とする人が増加する中、地域の実情に応じた支え合いの仕組みを作り上げていくために、計画内「基本目標1」に記載のとおり、第2層協議体（介護予防・生活支援体制整備協議会）未整備地区への設立を目指します。その中でボランティアや民間企業など多様な主体と協力し、連携を進めていきます。</p>
5	<p>移動支援の実施について</p> <p>移動支援については、期間中の実施となっていますが、こういった内容を検討されているのでしょうか？</p> <p>利用しやすい、良かったと思われる制度設計を期待しています。</p>	<p>現在、予算の確保を含め他の福祉施策の整理を行いつつ、移動支援の方法について検討を進めています。</p> <p>移動支援については、市民が利用しやすい制度を目指すとともに、第8期計画の期間内で、できるだけ早く実現していきたいと考えています。</p>

6	<p>生きがい対応型デイサービスについて</p> <p>現在、「ユアイ福祉交流センター」と「てのひら」でおこなわれていますが、地域的には市の東側にあり、北西部の住民が利用しにくい状況であると思われます。介護予防の必要性から、北西部に生きがい対応型デイサービスの設置を検討されてはいかがでしょうか。</p>	<p>生きがい対応型デイサービスの利用者はお元気な高齢者の方々であり、生きがい対応型デイサービス以外にも様々なところで、外出の機会もあり介護予防に努められているところだと考えます。しかし現在2ヶ所の生きがい対応型デイサービスは市の東側にあるため、市民の利便性の向上を図り、現在も実施している地区公民館での出前型の生きがい対応型デイサービスの充実を検討します。</p>
7	<p>総合的な介護予防の推進について</p> <p>いきいき百歳体操・かみかみ百歳体操の継続を望みます。また、地域ニーズを把握し、リハビリテーション専門職とうまく繋ぐ施策に期待します。</p>	<p>計画内「基本目標4」に記載のとおり、いつまでも健康でいきいきと暮らせるように、いきいき百歳体操、かみかみ百歳体操を引続き推進し、介護予防や健康づくりに取り組みます。</p> <p>リハビリテーション専門職と連携して、いきいき百歳体操をはじめとした介護予防事業や総合事業を推進します。</p>
8	<p>介護保険サービス提供体制の充実について</p> <p>コロナ禍において、介護人材、介護事業所においては大変なご苦勞をされていると思います。With コロナ、アフターコロナというように、コロナとの付き合いはまだまだ続くことが予想されます。介護保険事業の運営について、介護人材の育成や介護事業所への支援を充実させ、介護サービスの質の向上をめざしてもらいたい。</p>	<p>計画内「基本目標5」に記載のとおり、介護人材確保については高砂市でも兵庫労働局と連携しミニ面接会を実施するなどして市内の事業者と連携していく予定です。</p> <p>市内事業所とも連携を図り、需要を聞きながら事業所運営についてより効率的になるよう取り組みを進めていきます。</p>